

香取市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（第2回 佐原区） 意見概要	
日 時	平成 21 年 7 月 26 日（日） 14 時 00 分～16 時 00 分
場 所	佐原中央公民館
参加人数	14 名
	◆都市計画マスタープラン 将来のまちの姿等に関する質疑応答
市民	<ul style="list-style-type: none"> 何回か策定委員会を開催されたということですが、その計画づくりの中で、どのような議論があったのか、整理されたのかを教えてくださいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> これまで行ってきた策定委員会、都市計画審議会、庁内検討部会、また、地域協議会への報告等の要点を説明いたします。委員会等については市のホームページで会議録を公開しております。 策定委員会では、香取市の生活や活動の拠点をどう考えるかが議論の対象になりました。効率的なまちづくりという点からは、一つの都市拠点とすることが理想で、用途地域が指定されている佐原の市街地を都市拠点（中心拠点）としました。では、小見川の用途地域はということで、これまでの変遷や旧市町の結びつきを考慮すると都市拠点としての機能を持つべきだろうということで、都市拠点（副拠点）と位置づけました。山田区、栗源区については、生活圏を考慮すると区内に行政サービスや生活サービスが必要ですので、地区拠点を位置づけました。更にこれらの拠点や地域を有機的に結ぶ軸を位置づけております。詳細については市ホームページをご覧くださいと思います。また、市都市計画課で閲覧も可能です。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的資源というのは佐原、小見川では異なると思います。また、伊能忠敬さんだけが偉人であるという捉え方は危険かと思います。例えばナミキ先生（？）という人が住んでいました。この人の家がどこにあったのか、わからなくなっています。佐原は文化都市として栄えた都市であり、その辺をどう捉えて都市づくりを考えているのかお聞かせ下さい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 地域の資源、特性やアイデンティティを活かしていくことが、地域の個性や愛着を生み出していくものだと思います。佐原では伊能忠敬先生のほか、小野川周辺、また、佐原の大祭等の地域文化資源を活かしてまちづくりを進めてきた経緯があります。また、中心市街地活性化基本計画では、商業と都市基盤をセットにしたまちづくりを計画しており、国土交通省と経済産業省の協力を得て、まちづくりを進めております。また、今は、歴史まちづくり法や景観法という法律が整い、地域の様々な資源を活かしてまちづくりを進めることが可能となっております。佐原では、伊能忠敬先生だけではなく、さまざま地域資源を活かしたまちづくりを進めていることをご理解いただければと思います。

市民	<ul style="list-style-type: none"> 江戸との交流では、たくさんの学者がいたと思うが、それをまちづくりに活かしていくことも考えられる。また、文化資源では、香取市から流出しているものもあり、それを防ぐ必要があると思う。 土砂採取により、下総台地の地形が壊れていることが残念である。どんな対応が可能か教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文化資源へのご意見は、教育行政で取り組む内容となりますので、ご意見は担当部署に伝えておきます。 土砂採取ですが、自然環境や景観等になると思いますが、分野別方針で整理していますので、まず、分野別方針の説明をさせていただきます。
	(1)都市計画マスタープラン 分野別方針について説明
市民	<ul style="list-style-type: none"> 産業拠点の方針がありますが、操業環境の維持、向上に関する考えをお聞かせ下さい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 小見川工業団地をはじめ、工業団地の操業環境の維持、向上については、道路や排水などの基盤の整備、緑地の整備などの周辺環境との調和等が必要と考えています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 森林保全についてですが、佐原区は南部に緑が多いのですが、その緑は民地だと思います。その保全はどう考えているのかお聞かせ下さい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 林地の所有者の方にも、土地利用の方針をご理解いただき、協力をお願いします。ただし、民地ですので、保全と反することも考えられますが、その場合でも、環境に配慮した進め方を誘導していくことが行政の役割だと考えております。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 河川流域の保全は大切だと思うのですが、如何でしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全の方針において、「緑の基本計画」の策定により河川や緑を保全、育成していくとあります。都市計画マスタープランは方針で、それに基づいて個別計画を進めていくこととなります。緑や河川については、「緑の基本計画」で定めていくこととなります。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 佐原市の時に「緑の基本計画」を策定していますが、どれくらい進んでいるのか。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 私が言っているのは、現在、小野川では船を浮かべるために水門を閉めたりしているが、そのような状況にならないような政策がとれるかをお聞きしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 河川の上流の緑を保全していくための政策ということになると、具体の検討を行い、それを踏まえて検討することになります。 佐原市時代の「緑のマスタープラン」ですが、風致地区の緑を保全するなど、計画は詰めたのですが、それを実行する計画をたてずに終わったのが実情です。香取市としては、佐原市時代の反省を踏まえ、環境基本計画等の関連計画との調整、連携を図りながら「緑の基本計画」を作成し、市民の皆さんのご協力を得て、実行していきたいと考えています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 森林保全と言っても、許可がおりれば開発されることになるのではないかと。安全、安心のためにも保全していくことが必要ということですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランでは、保全しようということになります。

	<p>ただし、開発させないということは、個人の財産を制限することになります。条例の制定など、対策はありますが、それは今後、検討していくことになると思います。</p>
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・大戸駅周辺に何も位置づけはないのですが、市として考えていることはないのでしょうか。 ・土砂採取の件ですが、香取市には残していきたい城跡等が残っている。それらが砂取りで無くなっている。歴史的なものをどう残すか、新しいものをどうつくるか、その辺を考えていくことが必要と思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は香取市全体の大枠の骨格を示しております。大戸駅周辺については、今後、地域別構想で検討することになります。 ・文化財等の関係ですが、基本的には緑の保全、歴史的な資源の保全を図ることにしています。ただし、都市計画としては守備範囲が異なり、教育関係との連携が必要になってきます。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・親水公園等の整備は、安全性を十分に配慮して検討して欲しいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。では次の説明をさせていただきます。
	<p>◆都市計画マスタープラン 分野別方針等に関する質疑応答</p>
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原駅周辺の例えば自動車交通の処理などの開発、計画の考えをお聞かせ下さい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原駅周辺には未着手の都市計画道路があります。都市計画道路は土地利用の制限がかかりますので、長い間、未着手になっている都市計画道路の見直しを管理者である千葉県と協議しています。また、佐原駅周辺には都市再生整備計画という計画があります。これは、駅北側、駅南側の駐輪場の整備、駅舎と観光交流センターの合築、また、先になりますが駅前広場の整備を計画しています。これらの整備は都市計画道路の見直しとリンクしたものになりますが、現在、このような内容となっております。また、東関戸踏切は、JRと調整し拡幅整備が完了しており、現在、北側に向けて道路を整備する計画です。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・水の郷さわらですが、拠点としては観光の拠点となっているのですが、他の機能はないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・水の郷さわらは、多様な機能を持っています。平常時は観光交流という機能が中心となります。また、ここは高規格堤防で、国の防災ステーションが整備されます。利根川の決壊等の場合、ここにある資材を利用するということになります。消防団等の待機所もあり、非常時には防災拠点としての機能を持っています。ご意見のとおり、ただの観光拠点ではなく、防災機能としての機能も持っています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥の観察等もできると聞いていますが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・水の郷さわらとは別に国が、自然を残して整備すると聞いており、そこで、観察できると聞いています。ただ、水が溢れた場合、水に浸かる場所でもあるので、箱もの等は難しいと思います。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・水の郷さわらですが、ここは自動車での利用を想定されていると思うの

	<p>ですが、交通量はどうなるのでしょうか。現在、昔のハローマックの周辺で渋滞が発生しています。その影響等は如何でしょうか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 356 号は、香取市において国道 51 号について交通量が多い道路で、現在、水の郷さわら前の 4 車化工事を進めてもらっています。水の郷さわらに設置される道の駅は来年 3 月に完成しますが、それまでに 4 車線化されるか未定ですが、右折レーン等の対策を検討しています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 356 号ですが、いつ頃小見川まで出来るのでしょうか。私どもで調査を行っているのですが、国道 356 号の津宮の付近では、二酸化窒素が高い箇所があります。それもあり、国道 356 号バイパスが開通すれば良いと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 356 号バイパスですが、今年の 3 月に小見川大橋から笹川新橋までの区間が開通しました。現在、笹川新橋から銚子に向けて工事を進めるということで、佐原、小見川区間は手つかずの状態です。香取市としてはこの区間を早急に整備してもらいたいと考えており、地域の皆さんと協力して早急に進めてもらおうと考えています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・20 年前は佐原に楽しむ場所があったが、最近は成田など、佐原の外に行く人が多いと思います。やはり佐原の中で人が集まる場所をつくっていただければと思います。 ・この計画策定後の活動ですが、どのようにされるのか教えてくださいませんか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、地域別構想を作成した段階で、地域別懇談会を開催し、また、計画案がまとまった段階でパブリックコメントを行います。 ・都市計画マスタープラン作成後は、都市計画マスタープランの内容を、総合計画の実施計画、現在、香取市では単年度計画として作成していますが、それにこの方針を踏まえて各政策に予算づけをしていくこととなります。 ・また、都市計画マスタープランは 20 年の長期計画の方針ですので、この方針を実現していくためには、市民の皆さんと協力しながら、より良い政策をつくっていくことになると思います。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・与田浦は環境も良いところで、そこを自転車での安全な散策やマラソンなどができるコースがあればと思うのですが、そのようなことは如何でしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原市時代に与田浦周遊道路整備事業により、水生植物園を起点に、十二橋駅から北与田浦を回遊する道路を整備しましたが、あまり使われていないようです。また、大利根サイクリングロードの他、常陸利根川の堤防の上を整備する話も出てきているようです。このようなものを利用して、自転車専用となるかはわかりませんが、ルートづくりは位置づけていきたいと思っています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・与田浦の冬の観光を、例えば、冬の渡り鳥を呼ぶとか、考えられますが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・与田浦周辺の観光的な位置づけは行っています。具体的なアイデアについては、お伺いしておきますし、また、具体の計画を作成する段階で協

	力をお願いできればと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> •他に、ご意見はありませんでしょうか。 •それでは、本日は長時間に渡り、ありがとうございました。今日いただいたご意見については、この計画に反映できるか検討いたします。反映が難しい場合でも担当部署に報告いたします。この懇談会は今後も開催を予定しています。11月末頃だと思いますが、次回も是非宜しく願いいたします。それでは、閉会とさせていただきます。

